

第4回 第2次江別市観光振興計画策定委員会 会議録概要

日 時	令和6年1月23日（火）14時00分から15時00分
場 所	江別市勤労者研修センター 1階 研修室1
出席者（5）名	委員長 / 藤本直樹 副委員長 / 北川裕治 委 員 / 内藤幸樹、山崎啓太郎、奥平啓太
欠席者（3）名	委 員 / 畠山真理、成田裕之、岡村恵子
傍聴者（0）名	-
事務局（4）名	経済部長、経済部次長、観光振興課長、観光振興課主査
オブザーバー（1）名	第2次江別市観光振興計画策定支援業務受託業者
議 題	協議事項 ①第2次江別市観光振興計画（案）にかかるパブリックコメント（寄せられた意見と市の考え方） ②第2次江別市観光振興計画の最終案
会議録	
事務局	開会のことば
委員長	第2次江別市観光振興計画の策定スケジュールについて、事務局より説明願う。
事務局	<事務局よりスケジュールおよび進捗等に関する報告>
委員長	予定として本日が最後の委員会となる。第2次江別市観光振興計画の策定スケジュールについて、質問・確認事項はあるか。
委員一同	なし。
協議事項①：第2次江別市観光振興計画（案）にかかるパブリックコメント（寄せられた意見と市の考え方）	
事務局	<事務局よりパブリックコメントで寄せられたご意見と、市の考え方をご説明>
委員長	1ヶ月の募集期間の中で、意見提出が2名、延べ3件の提出件数となっている。それほど多くない意見をどのように捉えるか。バランスよく色々な観点に触れられていて観光振興計画としては適切だったため、やや感想に近いコメントになったのではないかと受け止めている。
山崎委員	2名の意見ということで、無関心なのかと考えてしまった。
委員長	同時期に他のパブリックコメントが実施されたことも影響があったと推測される。
奥平委員	3件とも市民の実態に沿っていることが書かれているので、エールと受け取って今後活かしていきたい。
内藤委員	もう少し件数があってもよかった。思ったよりも少なかったことが残念。
副委員長	A・Bに区分される意見がなかったのが残念。12万人の市民に聞いているので、委員会で気が付かないようなことを意見してくれるととってもよかった。
委員長	今後は多様な意見をもう少し引き出せるよう工夫していきたい。

協議事項②：第2次江別市観光振興計画の最終案	
事務局	<事務局よりご説明>
委員長	委員の皆さんからご質問・ご意見はあるか。
委員一同	なし。
委員長	委員からの意見がないので、この内容にて異論無しとして策定委員会を終了する。
委員一同	承知した。
意見交換	
委員長	市長選もあり、12月まではタイトな検討スケジュールだった。今後に向けて皆さんからひと言ずつ意見を頂戴したい。
奥平委員	1年を通して最後まで参加させていただきありがたく思う。ここからが始まりなので、たくさんの市民に届いて行動に移してもらえることを期待する。そのために、本計画を共に考えるワークショップ等、イベントや勉強会のような形で市民を巻き込んで、何ができるか一緒に考えていきたい。
委員長	奥平委員は市民公募として本委員会に参画されたが、お気持ちや思いはこの計画に盛り込まれたと感じるか？
奥平委員	思いだけだったものが、計画できちんと整理されたと感じる。
内藤委員	6月に江別駅に着任して、何もわからない中でいろいろと勉強させてもらった。計画内の施策をいっぺんに全てできるわけではないので、着実に一つずつ進めることが大切。江別在住なので、何とか江別市をよくしたいという気持ちは皆さんと同じ。プレーヤーとして頑張りたい。
山崎委員	パブリックコメントを拝見して、市民は江別の観光に関心がない？と感じたが、江別市の人口は12万人なので、市内向け・市外向けどちらにも可能性があると考えている。今後議論したくなる・アドバイスしたくなるくらいの江別観光になるよう頑張りたい。
委員長	えべつ観光協会は、限られたスタッフでやりくりしてご苦労も多いとお見受けする。人口12万人都市なので、観光に関わりたい人の掘り起こしや、観光に対する認知度や解像度を上げていく努力がまだ必要かもしれない。観光という函館・小樽などのメジャー観光地をイメージするが、観光入込客数は江別市の外からの入込人数を推計しているはずなので、市内での多様な動きは関知していないはず。市内の動きをもって、市外からの交流人口・関係人口など、観光動態につなげていくことができればよい。
副委員長	良い計画ができたと思っている。問題はこれからなので、一通りやらないといけないが難しいので、1つ1つやっけていくしかない。主要なKPI・KGIを達成することで経済を動かしていきたい。5年の計画期間の中で、初年度から実施していく計画意識をもって進めてほしい。商工会議所としては、観光にばかり予算を使うことはできないので、市の予算組に乗る形で、正しい結果をもたらす大事なことに注力すべきと思っている。江別市の「本気度」が問われるタイミングなので共に頑張りましょう。
委員長	観光は数値目標だけで判断はできないが、数値は度外視できないので注視していく必要がある。計画が完成したこれからがスタート。初動でメリハリをつけて施策を実施し、成果が目に見えてくると商工業者の皆さんと江別市民もついてくるだろう。そのために、市の本気度や本計画策定に携わった我々の責任も問われてくる。最後に、1年間みなさんお付き合いいただきありがたく思う。もう少し議論をしたい方もいたかと思うが、少人数でかつアットホームな中で色々な意見を交換ができてよかった。一般的な行政の会議よりも発言を多くいただき、今回の第2次江別市観光振興計画に散りばめることができた。会議としてはこれで終了となるが、今後も皆さんと色々な場面でご一緒することがあるかと思うので、引き続きよろしく願いする。
その他	
事務局	<事務局より議事録に関する依頼>
策定委員会の閉会	
事務局 (経済部長)	策定にご尽力いただき感謝申し上げます。5年前に第一次を策定して、5年間は計画に沿って事業を進めてきた。コロナもあって思うように進まないこともあった。改めて今回は実情に合った計画が策定でき感謝している。計画策定で終了せず、いかに活用できるかにかかっている。引き続き皆さんにお力添えいただけるとありがたい。